

# 光受寺通信

NO.204  
発行元 光受寺 R8.1.1 発行



弥陀の本願に包まれて、「南無阿弥陀仏」で今年も始まる。

昨年の報恩講では準備から後日付にて申込みや、門徒の皆様の報恩感謝の思いと、いじめ力によつてお勤めされたいたいとがござりました。誠にあ

さて、その昔は「人生五十年」と言わされていました。蓮如様のお文（4帖の2）にも「それ人間の寿命をかぞうれば、いまときの定命は五十六歳なり」と

あります、「J6」とを表すなど、また私が頑張れるのかなど想いながら生じるのですが、それは平均寿命の延(のび)をもつて人生を油断させ、緩慢な

愚に止む無からぬた其の上ひなるにしも。たゞ此の山の峰をしたまにしても人生の終焉の時は必ずやつゝゆかのじよ。

「人生で最も大切な」とは何かと尋ねる時、五十歳であるうと百歳であるうと「出でてもおのに出会つてしまふ」人生でなかつたならば、それは人間として生きたことにはならないし、空しい人生に終わつてしまつのではないいかと思つのです。

「本願力にあいねれば むなしくすじる ひととなき」

(觀佛本願力遇無空過者能令速滿足功德大寶海)

## 親鸞聖人——絵像の讚頌

「これは『高僧和讃』のお伽葉です。私たちは人生の長短に関わらず、必ずしもならないものを必死に追って求め、幸せを掴むのと必死に苦渋して生れてしまった。しかし、「まことに死せん」ともは、かねてたのみおもつね難か(やごん)も財宝(ざいぼう)も、わが身(み)にはひとつもあひそし」とあるべからず」

「うーん、どうも、うまいわ。」

本願力に会うとは、聞法して本願を信じ念佛を申す身となる」とです。阿弥陀仏の本願力に導かれ、苦惱に満ちた人生から自らの思いやはからいを超えた本当の自分に田覓めてゆくのです。

年の初めには  
家族そろつて

## 正信偈を読みましょう。



新年にあたり

總代  
K · N

新年あ玉掛しでおねだりからおもて

皆様に、また、年を重ねるごとに、お慶び申しあげます。

総代になつて二年近くになります。お寺のことは何もわからず重責に不安でしたが、皆様に教えていただきながら何とか務めることができ感謝申し上げることも同じ、今後もうこの縁を大切にしたいと思

私事ですが、免許証の後期高齢者講習のハガキが届き、「後期高齢者」との仲間入りです。無理が利かない身体を田畠で動かし収穫に喜び、先日もお常飯の時3歳の孫が経本を手に口すそんじる姿にほっこりし、心身共に健康でいられる事にありがたみを感じながら日々過ごさせていただいています。

去年の漢字「文部は」熊でした。各地で熊が出没し、人的被害が頻多記録となり人と自然の境界が揺らぐ一年でした。熊も人間も安全に暮らせる世の中になつて欲しいです。「光受寺通信」にも載っていますが、年賀状じまい等最近は人間関係が希薄となり、何事にも簡素化され、心の寂しさを深く感じます。

今年も、永代経や報恩講やお寺サロン等を通して多くの方にお寺に足を運んできただき、門徒同士の交流ができたりと願っています。本年は、災害が少ない穏やかな一年になりますよう願っています。

## 今月の掲示板

### 瀕死の一生

ひんし

顯證寺坊守 藤かおり

「輝けーお寺の掲示板大賞2021」の受賞作（彼岸寺賞）。

私たちには医療がどんどん進み、便利で豊かな生活になつたとしても明日も生きられないかといつかわからぬ今を生きているのです。それはまさに瀕死状態で生きているのと同じであなとと思ふね。

「一日一日感謝し、大事に生きようと忘れないで」の気持ちを込めたのだと聞かれていました。

昨年の6月には「自分ファーストの賞しさ」で最高賞の仏教伝道協会賞に選ばれ、ダブル受賞となつたのです。簡潔な表現でズバリと核心を突いた言葉は素晴らしいですね。

## お磨きありがとうございました。

昨年十一月一日（月）に神志の磨きによつて仏具のお磨きをして頂きました。

毎年1月参加していただいている方も何人か来てくださいました。ほんどの方が一度は「」参加くださいました。

おかげで皆様の尊い「」奉仕が見事な輝れとなりました。

でもある「」将来は子供たちにも参加してほしいと思つてますが、それには休日に行つ必要があることから難しくといふがあります。

現在ではお磨きをしないとも済む方法（金メシキ、薬）もありますが、仕職としては、面倒で手間のかかる」といわゆる、「門徒の皆様がお集まつたため、門徒同士の交流を深め、尊い「」奉仕への思いをお供する」といふことが大切な」といふていふのです。「」時、「」じやなく、「」時、「」と、思つていのじす。



## 洋式トイレと手すりの設置が決まりました。

本年度の総会において、境内の和式トイレのうちの一基を洋式トイレへとし、本堂への登り口（右段）に手すりを設置する「」を承認して顶きました。

トイレスリフト

トイレスリフトを始め参拝者の方からも不便を「」指摘しておつまし、手すりにておもじりも転倒の危惧がありますので、機会に一事を行つて頂きました。

ト

イ

レ

ス

リ

フ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

ト

リ

○おでらナロフ  
廣専寺にて午後一時半～  
「新年の集」  
一時半頃まで

○おでらナロフ  
一月十五日（木）  
廣専寺にて午後一時半～

佛教小講（「」）

光吸寺知院  
『正信傳』の説

廣専寺若院

秋も去り春も去つて、年月をおへる。やのつむ廻れの口も廻る。ただいたづらにあかしていたづらにあらしむるのしかがとなりぬる身のあつやも「」かなしかれ。

お文 4帖の4

お知らせ  
仏法に接せむ。

『』感動の人生を。